

教育

・みんな一緒にの普通学級へ 埼玉連絡会

地域の学校で子供たちが「共に」育ち合う機会を、障害の種別や程度によって奪われることの無いように学校・教育局などと定期的に話し合いの場を持っています。

・就学ホットライン

障害を持つ子供たちとその親を含め、「就学」や「学び」を考えていくために年に一回程度県内のネットワークと協力しながら、相談のためのホットラインを開いています。

・実習など

共に育つ機会を現在失いがちな「普通」学級で暮らしてきた学生などに対して、実習などの機会を通して積極的に関わりを作っています。

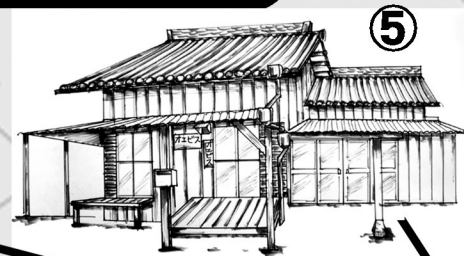
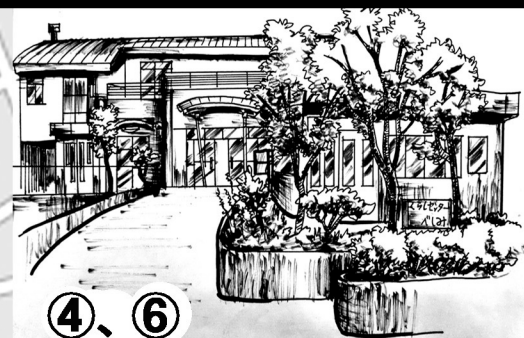
一緒に働く

・夏の交流合宿

毎年夏に行われている「夏合宿」は2泊3日で約100人の障害のある人ない人が公共交通機関を使って出かけていきます。車椅子を連ねて電車バスで移動する様はさながらわらじの会の民族大移動!?もちろん誰でも参加できます。

・わらじ大バザー

秋の大バザーを中心に冬の着物市、春のミニバザーなども行われています。秋の大バザーは搬入搬出に2日をかける大イベント。また品物は地域に住む障害者が自宅を品物の集積所として開放しながら、その地域に声をかけて品物を集めています。地域で暮らす障害者のお披露目的な要素もあるかも!?



あつまり

・なかまのつどい

地域で働く障害を持つ人たちが集まり、イベントやレジャーなどを行っています。働く障害者の「就労」が成り立つためには背景としての生活もとても大事な事です。

・クリスマス会、納会など

年末にはその年の「わらじの会」最後の行事としての納会を。またクリスマス会は公民館などを利用して地域の人などとの出会いの場としても開かれた形で行っています。また季節や状況に合わせての様々なイベントの企画や、関係団体のイベントやお祭りなどへの参加など、障害の有無や種別に関わりなく参加しています。

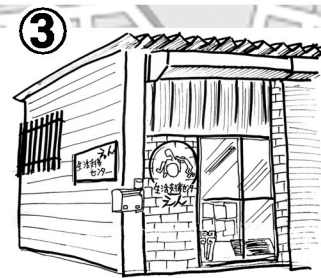
伝え合う

・障害者市民ネットワーク

埼玉県内の「地域で共に」活動する障害者団体との情報交換の場として、また県単位での交渉の窓口として、それぞれの地元で行っている活動などをより「伝え合い」「わかり合う」為の場として、ネットワークを作り活動しています。合宿や勉強会、イベントなども随時開催しています。またネットワークの事務局は県内の参加団体による協議会的に色々な人が参加して行われています。

・会報編集／発行

月に一回、会全体での会報として発行されている月刊わらじは会の内外を問わず原稿を集めて月ごとのテーマの元に発行しています。夜に行われる編集会議は夕食をとりながら時にゆったりと、時に激しく(!?)行われています。また会報の製本作業は毎月第2水曜日にべしみにて行われています。ここでは昼食をはさみながら色々な人との出会いの場所として、わらじの活動の入り口として毎回50人以上のボランティアなどを巻き込みながら行われています。「克己絵日記1,2」「地域と障害—しがらみを編みなおす」などこの会報から本になっているものも色々あります。



南部厚生病院

障害のある人も ない人も地域で共に ／わらじの会

あゆみ幼稚園 (文)

獨協埼玉中 (文)



7,8

わらじの会は1978年頃から埼玉県の東部地区を中心に「障害のある人もない人も地域で共に」と、活動を続けている任意の市民団体です。

わらじの会では街で暮らす障害者、またそれを取り囲む様々な人の暮らしを考えながらその必要に応じていろいろな拠点や関わりを作ってきました。

①NPO共に生きる街づくりセンター・かがし座
・パタパタ・ぶあく・ケアシステムわら細工

②・駅前ぶあく

③・春日部市障害者生活支援センターえん

④・くらしセンター べしみ

⑤・生活ホームオエヴィス

⑥・生活ホームもんてん

⑦・越谷市障害者生活支援センター苞(ぱお)

⑧・NPO障害者の職場参加をすすめる会(世一緒)

わらじの会は「福祉」という言葉で語られがちな障害を持つ人の暮らしの課題などを、専門家や家族に任せきりにするのではなく、**障害のない人も含めた”共に暮らす街の問題”**として、日常の中で**“共に”**考え、進めていこうという会です。

2017. Ver

仕事

・職場参加を考える会

職業という面から切り離されて考えられがちな重度障害者の就労を、わらじの会だけでなく他団体や企業主、行政機関などを含めながら考え、実践しています。障害が重くともまず職場にいるところから始める「地域適応事業」や、グループでのアルバイトなど、越谷市の障害者就労支援授業も委託している「NPO障害者の職場参加をすすめる会」と連携・協力をとりながら進めています。

・ピラまき、草抜きなどのグループアルバイト

ぶあくなどでの販売と共に障害を持つ人を含めた仕事として、草抜きなど園地管理やピラまきなどの仕事を地域の中で受注し、行っています。

・販売など

わらじの中にある常設店舗「ぶあく」「駅前ぶあく」の他にもお祭りやイベントでの販売や付き合いのある団体からの商品販売なども季節に合わせておこなっています。

・県庁ショップかつぼ、見沼農園など

県庁第2庁舎にある「アンテナショップかつぼ」の店番として、運営スタッフとして、県内の様々な団体と共に、「障害者も共に働く形」を県庁という場所を通じて考えています。また見沼田んぼで協議会形式で行われている福祉農園にも同様に参加しています。